

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	文化の振興			整理番号	100		枝番号	40		
所属部課名	区民生活部文化・交流課		コード	051201	連絡先電話番号	2284	昨年度整理番号	40		
係名				上位施策名	No					
予算事業名	文化・交流の推進		コード	12050	文化・芸術活動の推進				65	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 元 年度			根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			(1) 杉並区文化・交流推進委員会設置要綱						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民			(2) 杉並区施設文化費運用に関する要綱						
				(3) 杉並区・日本フィル相互協力に関する覚書						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 日本フィルとの友好提携事業、文化・交流協会の運営助成、文化・芸術活動の後援・共催等を通して、文化事業の提供・支援を行う。			活動指標名(式) (1) 日本フィルとの友好提携事業の実施回数 (2) 後援・共催名義使用承認事業実施件数						
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 地域の中で、区民が優れた文化・芸術に触れる機会が増えるとともに、区民の主体的・創造的な文化・芸術活動が活発になる。			成果指標名(式) (1) 日本フィルとの友好提携事業の参加者数 (2) 後援・共催により実施した事業の参加者数							
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		回	36	36	37	37	35		
	活動指標(2)		件	32	36	40	50	50		
	成果指標(1)		人	10,324	11,007	12,500	10,965	11,000		
	成果指標(2)		人	103,422	97,283		94,371			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	900	4,019	4,140	4,138	10,650	特記事項	
	(内)委託費		千円							
	職員数(正規 非常勤)		人	0.85	1.25	1.20	1.17	1.30		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	7,721	11,354	10,900	10,627		11,808
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0
	総事業費 + +		千円	8,621	15,373	15,040	14,765	22,458		
	単位あたりコスト ÷		円	239,472	427,028	406,486	399,054	641,657		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	8,621	15,373	15,040	14,765	22,458			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成10年度に「杉並区における文化・芸術振興のあり方懇談会」の報告に基づき、文化専管組織として文化・交流課を設置した。また、平成6年に日本フィルと友好提携して以来、当初年間7回だった公開リハーサル等の友好提携事業37回と増加し、身近な地域で優れた音楽を提供しており、区民に定着してきている。しかし、平成15年度から杉並公会堂が改築工事に入るため、今後の友好提携事業について一部支障が生じる。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		日本フィルとの友好提携事業については、身近なところで優れた音楽に触れる機会ができてよいという意見が多数寄せられている。小・中学校への出張音楽教室は、生の演奏を聞いた子どもたちの感動の声があふれ、他の区内施設への出張コンサートも好評で要望が多い。							
	今後の予測		日本フィルとの友好提携事業は、各種コンサート、公開リハーサル、出張音楽教室と定着した感があるが、友好提携を生かした新たな区への貢献を日本フィルも模索している。ただし、15年度より公会堂の改築工事が始まり、友好提携事業は新公会堂完成までの間、一部に支障が生じる。また、平成15年度から庁舎2階に区民ギャラリーを開設し、地域の中で区民が優れた文化・芸術に触れる機会が増えるとともに、区民の主体的・創造的な文化・芸術活動を支援することができる。							

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	125.0	14年度予算執行率%	100.0
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	日本フィルとの友好提携事業については、計画どおり実施された。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	昨年度は所蔵美術品コーナーとして杉並アートコレクションを庁舎2階に設置し、所蔵美術品の展示を行っている。また、区民ギャラリーについては、貸し出し基準をつくり一般に貸し出している。15年度は杉並学校音楽祭、3年毎に開催する杉並アート公募展を実施するため、予算が増加している。					

結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 区民が身近なところで文化・芸術に触れることができる機会の提供により、文化・芸術の薫り高いまちづくりの一翼を担っており、施策に対する貢献度は高い。
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 区民の生活にゆとりを与える文化の振興、地域性を生かした文化の振興は、区が行うべきである。
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 事業費・活動量の増加	理由:
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 日本フィルとの提携事業は、友好提携の覚書に基づき、日本フィルから無償もしくは低価格で提供されており、区民に還元すべき性格の事業である。また、その他の事業も地域文化の創造のために実施しており、基本的に無償で実施している。
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 区の実施する文化事業は区民全体を対象にしており、変更する必要はない。
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 区が実施している文化事業は無償もしくは、低価格で提供されている。また、その他事業費についても必要最小限のコストで実施しているため、削減の余地はない。

今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合
-----------	---

中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 日本フィルとの友好提携事業について、鑑賞機会の提供を中心としたものに加え文化・芸術の振興の観点から、音楽のワークショップなど、友好提携の地域還元の視点で事業を発展させていく。また、新公会堂の完成に合わせ、友好提携事業のあり方について検討する必要がある。その他については、区民ギャラリー、所蔵美術品の展示コーナーをより活用・周知することで、身近な施設で文化芸術に触れる機会を創造する。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法

短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	15年度に実施する杉並アート公募展(3年に一度実施)の予算が減少するが、16年度は、杉並区と日本フィルハーモニー交響楽団が友好提携の覚書を交して10周年を迎えるため、記念事業を予定している。

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国際交流の推進				整理番号	101		枝番号		
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051201	連絡先電話番号	2283		昨年度整理番号	41	
係名						上位施策名		No			
予算事業名		文化・交流の推進		コード	12050	交流と平和の推進		68			
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		2年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 杉並区・ウイロビー市友好協定 (2) 杉並区・瑞草区友好協定 (3)						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		友好都市（オーストラリア・ウイロビー市、大韓民国ソウル特別市瑞草区）等の代表団や親善訪問団等の派遣や受入を行う。他課・他団体が友好都市等と交流事業を行う際、連絡調整を行う。				活動指標名（式） (1) 友好都市訪問者数・来訪者数 (2) 友好都市との交流機会提供回数				
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		杉並区民等が、文化・スポーツをはじめ様々な分野で、友好都市等の住民と交流する機会が増える。				成果指標名（式） (1) 友好都市との交流事業参加者数 (2) 国際交流事業参加者数				
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績		19年度			
指標	活動指標(1)		人	183	66	50	102	21	60	170.0	
	活動指標(2)		回	10	3	2	4	3	4	100.0	
	成果指標(1)		人	553	718	50	192	400	500	38.4	
	成果指標(2)		人	3,673	10,221	8,000	6,715	8,000	10,000	67.2	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,825	2,920	2,923	1,152	6,166	特記事項 他課・他団体の事業を含む。		
	(内)委託費		千円	0	342	0	0	0			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.85	1.53	1.50	1.61	1.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	7,721	13,897	13,625	14,624	9,083			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	9,546	16,817	16,548	15,776	15,249			
	単位あたりコスト ÷		円	52,164	254,803	330,960	154,667	726,143			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	9,546	16,817	16,548	15,776	15,249				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		国際化が進み、海外へ出かける人・日本を訪れる外国人ともに増加。杉並区文化・交流協会の設立(交流係で国際交流事業を展開)。在留外国人は区内で1万人を超え、国籍も90カ国以上を多様化。国際交流事業を行うNPO、ボランティア団体の増加。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		次世代に続く交流をしてほしい。友好都市についてPRが不足している。民間団体中心で区や文化・交流協会が支援する形での交流を進めるのがよい。交流についての情報提供。								
	今後の予測		ボランティア団体、NPOを中心とした交流が進む。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	204.0	活動指標(2)の14年度達成率%	200.0	14年度予算執行率%	39.4
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	友好都市からの訪問団受入がなかったため、執行率が低かった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	隔年で実施していた代表団のウィロビー市訪問を中止。瑞草区とのアクション・プログラムを策定し、これに基づき新規事業(平和ポスター・絵画コンクール、共同冊子の作成、中・高校生交流会、こども委員会)を実施。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由)	理由: 友好都市との提携により、定期的・継続的に他都市との区民との交流機会をつくりだしている。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 見直す余地がある(改革案の概要へ)	理由:				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ある(改革案の概要へ)	理由:				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ)	理由:				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(手段・方法の変更)	理由:				
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 国際交流に関しては、情報収集・提供に努め、区民の自主的な交流活動を促進していく。友好都市について、資料・情報をそろえ、区民に提供・閲覧ができるようにする。2012年まで瑞草区とは10年アクション・プログラムに基づき交流を進めていく。また、区内在住外国人のための施策の拡充や、区内在住外国人との交流の促進、それを通じた国際理解などを進めていく(国際化施策について来年度から検討)。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民の派遣・受入に関しては、国際情勢をみながら対応していく必要がある。また、杉並区だけでは事業内容を決められないので他都市との協議が必要。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 当面、瑞草区アクション・プログラムに基づく、各事業を円滑に実施していく。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国内交流の推進				整理番号	102		枝番号						
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051201		連絡先電話番号	2283		昨年度整理番号	42				
係名						上位施策名		No							
予算事業名		文化・交流の推進		コード	12050		交流と平和の推進		68						
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		1 年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		<input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区・風連町友好協定		(2) 杉並区・吾妻町友好協定		(3)				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		杉並区在住・在学・在勤										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		友好自治体（北海道風連町、群馬県吾妻町）等の代表団や親善訪問団等の派遣・受入を行う。他課・他団体が友好自治体等と交流事業を行う際、連絡調整を行う。				活動指標名（式）		(1) 友好都市訪問者数・来訪者数		(2) 国内他自治体との交流機会提供回数				
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		杉並区民等が、文化・スポーツをはじめ様々な分野で、友好都市等の住民と交流する機会が増える。				成果指標名（式）		(1) 友好都市との交流事業参加者数		(2) 国内交流事業参加者数				
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画		目標値	目標値に対する14年度の達成率%			
							計画		実績		19年度				
指標	活動指標(1)		人	478		483		450		359		345	450	79.8	
	活動指標(2)		回	18		20		9		21		15	10	210.0	
	成果指標(1)		人	1,503		782		700		384		440	800	48.0	
	成果指標(2)		人	1,575		2,075		1,500		1,886		1,600	2,000	94.3	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,247		565		959		542		959	特記事項 他課・他団体の交流事業も指標に含む。		
	(内)委託費		千円	3,456		0		0		0		0			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.17	0.00	0.98	0.00	0.90	0.00	0.86	0.00	0.70			0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	10,627		8,901		8,175		7,811				6,358
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0				0
	総事業費 + +		千円	14,874		9,466		9,134		8,353		7,317			
	単位あたりコスト ÷		円	31,117		19,598		20,298		23,267		21,209			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0				0
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0				0
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0				0
差引:一般財源 -		千円	14,874		9,466		9,134		8,353		7,317				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		吾妻町・風連町で開催されるまつりへの阿波踊り訪問団派遣事業は13年度から杉並区文化・交流協会へ移管。全体的に区が主催する交流事業は縮小傾向にある。												
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）		物産販売等、経済交流を進めてほしい。												
	今後の予測		物産交流などの進展が考えられる。												

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	79.8	活動指標(2)の14年度達成率%	233.3	14年度予算執行率%	56.5
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	来訪者が予想数より少なかったため執行率が低かった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	文化・交流協会が運営する区役所1階「コミュかるショップ」において風連町と吾妻町の物産を販売。また、吾妻町企画の交流事業のPR等を実施。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由)	理由: 友好都市との提携により、定期的継続的に他都市との区民との交流機会をつくりだしている。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 見直す余地がある(改革案の概要へ)	理由:				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 代表団は受益者に該当しないため。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ)	理由:				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(手段・方法の変更)	理由:				
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 文化・交流協会の運営するコミュかるショップでの友好都市の物産販売にあわせた友好都市のPRの拡充を図る。友好都市の資料を集め、閲覧・提供ができるようにする。経済交流について、調整を図り、物産販売等区民を中心とした交流が進むようにする。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 杉並区だけでは、事業内容を決められないので、他都市等との協議が必要。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 友好都市への出張については、可能であれば泊数を減らす。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並区文化・交流協会				整理番号	104		枝番号			
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051201		連絡先電話番号	2284		昨年度整理番号	44	
係名				上位施策名				No				
予算事業名				杉並区文化・交流協会		コード			文化・芸術活動の推進		65	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				12年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区文化・交流協会補助金交付要綱							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)							
	杉並区文化・交流協会				(3)							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)							
杉並区文化・交流協会に対し、文化・交流事業が円滑に行えるように補助金を交付する				(1) 区補助金額 / 協会歳入決算額								
				(2) 協会会員数								
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)								
区民の文化・芸術に触れる機会が増えるとともに、国内外の都市との交流が促進され、区民の文化・芸術活動並びに交流活動が活発に行われることを実現するために、協会が推進役となって機能する				(1) 協会会員数対前年伸び率								
				(2)								
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)		%	59	68	63	53	65				
	活動指標(2)		人	1,321	1,325	1,600	1,289	1,600				
	成果指標(1)		%		0.3	20.8	2.7	24.1				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	48,696	56,615	53,732	50,873	65,310	特記事項			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	7.62	7.98	8.16	8.24					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	69,212	72,482	74,117	74,844			0	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0	
	総事業費 + +		千円	117,908	129,097	127,849	125,717	65,310				
	単位あたりコスト ÷		円	1,991,689	1,909,719	2,039,059	2,376,503	998,624				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	117,908	129,097	127,849	125,717	65,310					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		杉並区文化振興協会と財団法人国際交流協会が統合し、平成12年度から杉並区文化・交流協会として事業展開、運営のための補助金を交付している。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		身近なところで低廉な料金で且つ優れた文化・芸術に触れることが出来る機会、また、異文化を理解し人と人とのふれあいも体験できる交流の機会をさらに拡充して欲しい。									
	今後の予測		文化・芸術活動や交流活動を実施する民間団体、NPO法人等の動きがあり、多様な文化・交流事業の提供も予測される。こうした中で協会の事業展開如何により、補助金に影響が生ずることも予想される。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	84.4	活動指標(2)の14年度達成率%	80.6	14年度予算執行率%	94.7
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	協会の中期基本計画を作成し、展開する事業の継続性、多様化を図り、効率的な運営を目指した。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですが 貢献度 中(理由)	理由: 区からの補助金により、協会の事業は円滑に行なわれており、区民の文化・交流活動に寄与している。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 区が設置した外郭団体であり、運営基盤の確立からも必要である。				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 協会事業は低廉な価格で優れた文化・芸術の提供や交流の支援を行なっており、また、参加者に応分の負担も求めているため現状での見直し余地はない				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ)	理由:				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(民営化・外部委託化)	理由:				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 協会のチケット販売による事業収入や広告収入を活かし、毎年度変動する補助金交付額を定額とすることにより、一定の補助金抑制が期待できる。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	協会が主催する文化・芸術事業、交流事業について多様な要望があり、事業の拡大拡充を望む声がある。事業企画はイベント内容により経費の変動が大きい、定額制の補助金交付を行っていない現状では事業予算の増が予測される。				